

令和4年 第6回 仙北市議会定例会 議案質疑 通告要旨

議案第81号 令和3年度仙北市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

9番 平岡裕子 議員

- 1 コロナ禍2年目にも関わらず、収入未済額が前年比2,000万円減の5,511円になったとはいえ、医療分・支援金分・介護分の滞納額は2,300万円と多く、収入に対しての税率の高さがうかがえる。2年度・4年度と税の引き下げを図ったが、今後の予定を伺う。
- 2 延滞金収入は、前年度に比べ300万円ほど減収になっているが、延滞金の発生時期と利率を伺う。延滞金を課していない自治体もあるが、本市の見解はいかがか。
- 3 実質収支1億8,700万円となった。次年度予算に生かされると思うが、3年度予算に1億円近い額を計上したが結果は不用額となっている。基金は6億1,000万円となっており更に積み増しをしていくのか。
- 4 今年度から、未就学児の均等割負担が二分の一となっている。年齢の拡大や18歳までの無料化は検討できないか。
- 5 神代診療所施設勘定では、実質収支が3万1,000円で、黒字決算ではあるが、一般会計からの運営費繰入金5,500万円のほとんどが、医師の報酬・報償費として5,268万円が支出される。神代診療所は、地域の医療機関として期待もされ、常駐の医師を望む声も大きい。医師確保の状況について伺う。

15番 高久昭二 議員

- 1 令和3年度 短期保険証、資格証明書発行数及び、それにより病気治療中の方は何名いるのか。また、それにより受診を控えるケースはなかったか。
- 2 決算の結果、大幅な黒字決算となり、基金に積み増しされたが、なぜ、黒字部分を活用し、一部国保税引下げに活用しなかったのか。

議案第82号 令和3年度仙北市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

15番 高久昭二 議員

- 1 同医療保険料負担（75歳以上）は、令和2年度と比べどの位増えたか。また、家計を圧迫するため、減免、徴収猶予申請、相談はなかったか。
- 2 同医療被保険者は、年齢からして、ほとんど医療機関にかかっているが、負担軽減、通院サポート等どのように図ったか。

議案第87号 令和3年度仙北市病院事業会計決算認定について

15番 高久昭二 議員

- 1 令和3年度大曲厚生医療センターからの応援派遣医師数及び受診患者数により、市立角館総合病院の医療収入はどの位あったか。また、応援医師の報酬分はどの位かかったか。
- 2 外来診療、小児科、産婦人科、眼科、メンタルヘルス科の医師数、派遣数及び受診患者数及び今後、医師招致に向け、どのように招致計画、努力する予定か。また、自治医科大からの派遣医師数と今後の展望について（角館、田沢湖両病院共）
- 3 市立田沢湖病院の療養型病棟の利用病床率及び今後の計画、改善はないか。
- 4 市立角館総合病院の所有不動産（元医師住宅、看護寮等）の売却に向け、令和3年度どのように取組んだのか。
市立田沢湖病院の債務の削減に向け、令和3年度はどのように取組まれたか。

議案第89号 令和3年度仙北市水道事業会計利益の処分及び決算認定について

7番 高橋輝彦 議員

◎令和3年度の水道事業及び下水道事業の決算状況 (単位：千円)

	営業損益	一般会計からの補助金	経常利益
水道事業	△181,537	152,669	△107,040
下水道事業	△655,915	711,100	△82,749
合計	△837,452	863,769	△189,789

仙北市の水道事業の経営環境は、今後も人口減少により収益が減少していくことや、老朽化による設備更新が必要になるなど、ますます厳しさを増していくことが危惧されている。

数年前から、水道料金の改定を含めた経営改善策を検討していると聞いているが、まだ、改善施策を提案できる段階にはなっていないのか伺う。

8番 熊谷一夫 議員

日頃より、水道未普及地域の解消及び老朽管更新事業等にご尽力いただき感謝申し上げます。昨年度の水道事業の決算及び今後の対策については以下の点について伺う。

- 1 水道事業決算書のP,8(Ⅱ)財務諸表のⅠ水道事業損益計算書6特別損失(4)当年度純損失107,039,634円が計上され、当年度未処理欠損金として93,871,119円として記載されている。純損失ではなく、未処理欠損とした理由と原因、今後の対策について伺う。
- 2 昨年度の有収水量、有収率等はP14の水道事業報告書でわかったが、昨年度の漏水率、漏水件数、と修繕費について伺う。
- 3 管路経年化率34.38%、管路更新率0.97%と(経営指標の推移)に記載があるが、老朽管更新事業を行っても完成するまで100年かかる。

今、更新した管路が100年経つと又、更新しなくてはならなくなる。未来に多大なツケを残す事になる。抜本的な対策が必要と考えるがどうか伺う。

(国では年間5,000億円、10年5兆円 of 老朽管更新事業予算を確保している)

議案第90号 令和3年度仙北市下水道事業会計決算認定について

7番 高橋輝彦 議員

◎令和3年度の水道事業及び下水道事業の決算状況 (単位：千円)

	営業損益	一般会計からの補助金	経常利益
水道事業	△181,537	152,669	△107,040
下水道事業	△655,915	711,100	△82,749
合計	△837,452	863,769	△189,789

仙北市の下水道事業の経営環境は、今後も人口減少により収益が減少していくことや、老朽化による設備更新が必要になるなど、ますます厳しさを増していくことが危惧されている。

数年前から、下水道料金の改定を含めた経営改善策を検討していると聞いているが、まだ、改善施策を提案できる段階にはなっていないのか伺う。